

キリストの心

ホープ・チャペル所沢

第一コリント人への手紙 2:6-16

生まれながらの人間は、神の御霊に属することを受け入れません。それらは彼には愚かなことだからです。また、それを悟ることができません。なぜなら、御霊のことは御霊によってわかまえるものだからです。御霊を受けている人は、すべてのことをわかまえますが、自分はだれによってもわかまえられません。いったい、「だれが主のみこころを知り、主を導くことができたか。」ところが、私たちには、キリストの心があるのです。

(第一コリント2:14-16、新改訳)

序文

コリント人たちは「知恵・権限・力」に対する様々な要求があった時代に生きていました。人々はカイザルやエホバを神と崇め、またある人々は、人間の知恵や多くの神々による魔術や迷信を信じていました。それゆえ信者になった人々の中には、キリストの信仰に入る前と同じ考え方や方法を用いて、神の御子に対する信仰に近づこうとした人々がいました。ですから、パウロは信者となったコリント人たちに、「霊に属する」ことの本当の意味と、「肉に属する」こととの違いを説明するために、この手紙の大部分を費やしたのです。

1. 聖霊は私たちに、神様の事柄を教えてください。(第一コリント 2:6-10)

ア) キリストによって救いが成就されるために、神様はご自分の知恵を隠されました。

イ) けれども、神様はご自分に属する人々に、御霊を通してこの知恵を明らかにされます。

2. 私たちが理解し、信じるために、神様は聖霊を与えてください。(第一コリント2:11-13)

ア) 誰も自分以外は自分の心が分からないように、神様の心はその御霊にしか分かりません。

イ) 聖霊は、神を求める人や神に従う人の理解を助け、信じる事が出来るようにされます。

3. 人は新しく生まれなければ、御国を見る事が出来ません。(第一コリント2:14-16)

ア) 人は神の霊により新しく生まれ変わらなければ、神様を知る事が出来ません。

イ) 新しく生まれ変わり、神の霊を頂くと、私たちはキリストの心が分かるようになります。

私たちの祈りと学び、話し合いと応用のために：

1. 第一コリント 1:17-2:8 を読み、神の知恵とこの世の知恵を比較してみましょう。
2. 第一コリント 2:6-8 を読みましょう。なぜ神様はご自分の知恵を隠されたのでしょうか。
3. ヨハネ 3:1-21 と今日の聖書箇所を読み比べてみましょう。

結論：

聖霊と聖霊が与える御言葉によらなければ、私たちは神様を知る事が出来ません。